

● **結成 20 周年記念祝賀会 41 名の参加で大成功** 12 時から準備が始まり最終解散は 20 時 20 分までの長時間の大イベントでした。梅雨入りとなつて前日の準備や当日は晴れるのかと随分気を使いました。雨天の用意にテントを運び込んでおくなど万端を尽くしました。木曜日が激しい雨が残りしましたが、金土は絶好の日和で、20 周年を祝ってくれているようでした。多くの皆さんにご案内を差し上げましたが、少し遠いという問題もあってか、41 名の出席がありました。また最後まで長丁場のお付き合いいただきました。

● **会員数** 20 年在籍間 30 名、15 年在籍者 34 名、10 年在籍者 39 名、10 年以下の在籍者 100 余名、で運営しています。そして年間のイベント数は 100 回を数え、年間の参加人数は 7000 人をオーバーする状況です。

● **主な実績** 20 年間の会費納入額 約 1000 万円、20 年間の決算総額 約 1 億円、助成金総額 2000 万円、貴重な発見 レンリソウ フナバラソウ イヌハギ キンラン ギンラン ムヨウラン カスミサンショウウオ 国蝶オオムラサキの生息確認、調査記録書の発刊物…木津川の花ごよみ、木津川に残したい草花、京都植物誌目録ノート、木津川読本「木津川はどんな川」、木津川生育植物標本写真集、京都植物誌目録ノート資料集、里山農園付近の生き物写真集、会誌 40 号、週刊ニュース 620 号、木津川生育植物標本 2383 枚製作、木津川植物生育種数 917 種の確定、里山農園の復旧（田んぼ 19 枚） 打田休耕田の普及炭焼き窯屋根の設置 教育棟の建設 観察棟の設置 イノシシ防御柵の設置、木津川草内渡しの浜親水公園実現 5000 m²、竹蛇籠 6 基設置、年間 100 回のイベント開催、受賞は環境大臣表彰 京都府知事表彰 淀川河川事務所長表彰、中でも木津川河川レンジャー 7 名を輩出（山村、福井、田中、山田、柴垣、小泉、沢内さん）してきました。「自然と環境講演会」や「里山講演会」は合計 40 回を数えます。年 2 回の講演会では著名な先生方から貴重なお話を伺い、多様な人々の集団が共に学び、共通理解を図り、前進する力、継続する力としてきている最も大切な場所であります。

● **感謝状贈呈（93 名）** まったく報酬もない百パーセント（時間も経費も）自前持ちで長年ご活躍いただきました皆様に敬意をもって感謝状を贈呈させていただきました。20 年前の入会者はほとんどが高齢となっておられますので、ご欠席もやむを得ないことではございましたが、ご出席いただいた皆様からご挨拶をいただきました。ご欠席者には後日感謝状を郵送させていただきました。5 年とか 10 年を節目にして厚生年金センターで祝賀の宴を持ちましたが、20 年の節目は、念願のフィールドワークとしての里山農園・自然塾が名実ともに充実することができましたので、里山の会自慢の教育棟で、緑あふれる里山で開催できました。本当に自然真ただ中で大盛会でした。

● **超高級お茶碗（鬼志野焼き）で里山農園・お茶会** ささやかに昨年お茶会を取り組みました。その経験から「20 周年記念の催しに、超高級お茶碗を持参するので」と青代さんの協力があって、実現できました。超高級お茶碗を用いる高級お茶会ではないと懸念しましたが、伊藤千恵子さん、深田三郎さんなどの面々が乗り気になっていただいたので、実現できました。初夏のこの時期は雑草が勢いよく繁茂する時期なので、大勢の皆様がお越しになり、それも初めてのお方が多いとの予想で、草刈り会場整備に気を使いました。一応準備万端整い、京菓子と地元生産のお抹茶でお点前を披露いただきました。本会の 20 年の数々の実績に思いを馳せながら、超高級お茶碗でのお茶は本当においしく感無量でした。ご相伴いただいた皆様もきっと感激され、ご満足のことだったと思います。

● **里山音楽会** 一般的に里山の会は音楽会とかお茶会とは少し縁遠いと取られがちです。それが室内ではなく緑豊かな真ん中で演奏を聞き入ることが続いてきています。今年も大正琴やバイオリンの演奏に心を癒しました。多忙な中時間を作って、練習していただき、真剣に発表いただいたことに感謝、感謝です。本当にいい時間を過ごさせていただきました。

● **里山ディナー** 堀りたてのジャガイモと玉ねぎを使ったカレーを本当に美味しくいただきました。芳川さんや森さん小川さん伊藤さんの腕前もあがって、手際の良いスピードで仕上げていただきました。催

しで食べ物を一緒に同じものを食べると、仲間が一つになるようです。ご参集いただいたみなさん、お味はいかがでしたか。ボリュームある振る舞いで満腹でしたね。蒸しジャガイモの塩味はシンプルで美味しかったですね。

● 腹話術と皿回し 有田さんと金田さんの出番です すっかり里山の会の定番となってきました。お二人の得意芸で、皆さんが大いに笑い、拍手にも一段と力が入っていました。お二人とも日頃の練習に熱を込められて、改良や工夫がみられ、上達されています。観客を引き付け、集中させておられました。楽しい時間を作っていただきました。ありがとうございました、感謝です。

● 竹蛇籠・オオムラサキの生態のビデオ上映 2015年度の最大の成果は10月17・18日に行った竹蛇籠の講習会の開催で、180人があつまり長い竹蛇籠を作り上げ、木津川本川に設置したことです。その講習会と竹蛇籠の制作のビデオの上映を行いました。竹蛇籠づくりに参加されていた皆さんにとっても、またはじめ映像で体験された皆さんにとっても、目新しい披露になりました。続いてNHKで放映されたオオムラサキのビデオの上映でした。山城地域では里山農園のこの場所がオオムラサキの生育場所と自負しています。ここでの鑑賞は格別の意義があったと思います。上映の後、皆さんに会場の後始末を手伝っていただきました。準備設営はまる一日かかりましたが、全員が手伝っていただきましたので、約15分で片付けました。

● ホタルの夕べ いよいよ本日のメインイベントホタルの鑑賞時間です。打田の炭焼き釜場への移動をします。ほたるの出現は夜のとぼりがすっかり落ちる8時10分ごろからです。あちらでピカリ、すると歓声が上がりますこちらでもふんわりと光が見えます。本当に幻想的な風景となります。この日は10匹ほどが飛び出したり草陰で光ってくれました。約30分間、蛍の出現に感激して帰路につきました。前日に続き、朝から準備いただいたみなさんお疲れ様でした。素晴らしい一日で大変成果の大きい取り組みでした。

● 京田辺のカエルの観察会 11日 午前10時より 普賢寺小学校前 グループレンジャーのうち爬虫類に詳しいのが福山伊吹君と沢栄さんの二人で、お二人の最初の活動としてこの日を設定、「カエルの観察会」を企画しました。普賢寺小学校前の田んぼに行くとトノサマガエルやヌマガエルが早速見つかりました。そしてニホンアマガエルも発見され、幸先良い滑り出しでした。この日にはカブトエビ、ヒルの一種が田んぼにいました。田植えのされていない草原ではコモリグモの一種、アシナガグモ、ショウリョウバッタ、クビキリギス、モンシロチョウ、ベニシジミの蝶類、キマダラカメムシ、ゴマダラカミキリムシが見つかりました。この日の超大物の捕獲は体長30cmのニホンマムシでした。この付近では強い農薬がつかわれていないので、こうした生き物が比較的豊かに生息しているようでした。里山の会としては新しい分野の開拓がされた爬虫類の調査会でした。

● 朝市 12日(日) 夜遅くまで楽しんだ20周年でしたが、翌朝8時には田辺府営団地で朝市に出店いただきました。朝市の取組みも1周年目を迎えましたが、お客さんも店屋さんもすっかり顔なじみになっておられます。楽しい朝のひと時となって、みんなこの日が来るのを待っていただいています。

● 17日・植物観察会 集合手原川河口・10時植物部会の主催。ひさしぶりにここを訪ねます

● 18日・25日(土) 10時 オオムラサキの飛翔観察会 12時まで 里山農園 前近畿大学教授・桜谷保之先生から指導いただきます。昆虫大好きな仲間・集まれ。弁当持参でもok

● 26日(日) 10時 木津川で「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」参加者募集中 往復はがきで申し込んでください。子供の名前・年齢 保護者の氏名 年齢 電話番号 メール番号を書いて往復はがきで申し込んでください。増水などで中止の場合も発生します。

● 27日国土交通省近畿地方整備局主催の業務研究発表会 9時より 里山の会とグループレンジャーが取り組んだ竹蛇籠で魚の棲みかをふやそうについて滋賀県立大学院生北野大輔君と京都大学院生小林君が職員に交じって発表します。今年も入賞を目指しています。15日には事務局会議でプレゼンテーションのリハーサルを行い、ご意見と感想を伺って、改善しました。応援にお越しくください。天満橋駅から徒歩5分です。